

平成28年度一般会計および特別会計などの予算案18件を審査するため、3月1日に全議員で構成する  
**予算審査特別委員会**を設置し、計7日間にわたり審査しました。  
 また3月17日に議長から市長に対して、指摘要望事項を提出しました。

## 市長に提出した指摘要望事項

5つの分科会審査の結果まとめられた10項目の指摘要望事項を、市長に提出し、市政運営に反映させるとともに、  
 反映状況の報告をするよう求めました。

**① 財政**については、基金の枯渇や多額の市債残高を抱えるなど依然として厳しい状況にあることから、引き続き、主要債務総額の削減を図るとともに、市税等の徴収対策強化や市有資産の効果的な活用などによる歳入確保と適正な歳出削減に努め、より一層の財政健全化に取り組みたい。

**② 職員の人材育成**については、多様で高度な市民ニーズに対応するための重要な課題であることから、職員ニーズを的確に捉えた研修機会を提供することはもとより、職員が自らのキャリア形成に向けて必要な能力を高め、最大限に発揮できるための体制づくりに意を用いられたい。  
 また、悪性新生物や精神疾患を理由とした休職職員が増加傾向にあることから、早期発見と要因分析に基づく発生予防などにより、職員の心身の健康保持に努められたい。

**③ 健康づくり**については、健やか未来都市ちばプランにおいて方向性が位置づけられている中で、新たな指針の策定に当たっては、健康寿命の延伸や医療費抑制を見据えた明確な目標を定め、市民の健康増進に寄与するよう努めるとともに、スポーツなどを通じて市民の運動習慣の定着を図るための施策の展開を検討されたい。

**④ 両市立病院**については、病院情報システムの統合に当たり、多額の費用の投入が見込まれていることから、システム改修に要する経費を精査するなど、病院会計への影響に配慮するよう努めるとともに、システム統合を契機として、より一層の業務の改善と効率化に取り組み、さらなる経営改善を図られたい。

**⑤ 市民協働によるまちづくりの推進**については、住民同士の助け合い・支え合いの新たな基盤となる地域運営委員会の設立の加速化に向け、設立メリットの住民説明や全市展開の手法に意を用いるとともに、ちばレポの本来の導入目的が市民協働による地域課題の解決にあることを踏まえ、コストに見合った成果を得られるよう取組内容を再確認するなど、協働のインセンティブが働く制度の導入を含め、将来を見据えた施策展開を図られたい。

**⑥ 市内経済の振興**については、事業目的に対する成果指標の設定と効果の検証を行い、効果的な予算執行に努めるとともに、優良な産業用地の確保を図りつつ、産学連携等が可能な地域特性を活かした戦略的な企業誘致、中小企業支援における産業振興財団を通じた効果的な施策展開、商店街の活性化に向けた商工会議所や庁内関係部局との連携による特色のある店づくりの支援や経営者の意識改革など、成果の上がる経済活性化策を推進されたい。

**⑦ 子どもルーム及び保育施設**については、指導員・保育士等の不足とそれに伴う保育の質の低下が懸念されることから、処遇改善等の人材確保に資する施策をさらに推進されたい。  
 また、特別教室等を活用した高学年ルームについては、教育委員会と連携し、保育環境の改善を図られたい。

**⑧ 放課後子ども教室**については、新たに配置される総合コーディネーターを活用して協力者の掘り起こしなどを行い、活動日数の増加と内容の充実を図るとともに、児童が参加しやすい環境を整備して、より魅力的な放課後の居場所となるよう努められたい。

**⑨ 住環境の整備**に当たっては、民間建築物の耐震化やマンション再生に係る支援制度の一層の利用促進を図るとともに、市営住宅の必要な建てかえ・修繕を実施し、住宅の安全・安心の確保に努めるほか、身近な公園についても、将来の維持管理を見据えた上で、利用者ニーズを的確に捉えながら、新設、再整備を行い、快適な居住空間の構築に意を用いられたい。

**⑩ 道路環境の整備**に当たっては、計画的かつ効率的な維持管理や新設改良を推進するとともに、地域住民等からの改善要望に対し、その緊急性等を総合的に勘案した上で適切な対応を図るほか、自転車レーン等の整備に際しては、あわせて走行ルールに関する周知啓発を十分に行うことにより、道路の安全性や快適性の向上に努められたい。

## 意見表明

3月16日の予算審査特別委員会では、5分科会の審査概要について報告が行われた後、6人の委員が会派を代表して意見表明を行い、採決の結果、各会計予算案を原案どおり可決しました。各会派の意見表明の概要は次のとおりです。(通告順に掲載)

**1 公明党千葉市議会議員団**  
**市民生活に密着した施策、財政健全化や行政改革が推進されており賛成**  
 少子高齢化への対応や医療・健康づくりなど市民生活に密着した施策を推進するとともに、将来を見据えたまちづくりなどにも予算が配分されています。一方で、財政健全化や行政改革が進められており、また、市民意見を集約した公明党市議団の要望の反映も確認でき、評価すべきと判断しました。厳しい財政状況が続く中、一層の市民福祉向上を目指し、市政に取り組まれるよう要望します。

**4 市民ネットワーク**  
**市民生活向上と市の将来に資する事業をバランスよく盛り込んでおり賛成**  
 予算編成では財政調整基金の取り崩しなどで収支不足に対応されていますが、財政健全化に向けてはまだ予断を許さないことから、今後、緊急避難的な財源対策に頼らずに予算編成を継続的に進めるよう、着実な取り組みをお願いします。一方で、市民生活向上のための各種施策のほか、市の将来に資する事業をバランスよく組み合わせた施策が盛り込まれており、総合的に評価した結果、賛成します。

**2 日本共産党千葉市議会議員団**  
**市民生活・福祉に背を向け、都心開発を優先する予算に反対**  
 市長提案の予算は、長寿祝い金88歳廃止、国民健康保険料の引き上げ、小中学校普通教室のエアコン設置拒否など、福祉を切り捨てる一方、千葉駅周辺はじめ、三大都心開発など必要性・緊急性に乏しい事業に重点を置くもので反対します。直下型地震の対策強化、循環型経済政策の実施、介護士・保育士の賃金引上げ、特別養護老人ホーム・保育所増設、市独自の奨学金制度の創設などに予算をまわすべきです。

**5 自由民主党千葉市議会議員団**  
**賛成しつつも、予算の執行には慎重な判断を要望**  
 開催が未定のドローン大会PR事業費、ロンドン視察など、市民理解が得られるか疑問である予算が盛り込まれている一方で、医療・福祉施策や子ども施策など、市民要望に応える施策も盛り込まれています。依然厳しい財政状況の下、市民理解の得られない事業は、その予算執行を慎重に判断し、財政健全化への取り組みの着実な推進や市民の皆様のより豊かな暮らしの実現に向けて努力されるよう求めます。

**3 未来民主ちば**  
**財政健全化への着実な取り組みを評価し賛成**  
 厳しい財政状況にありながらも、徹底した歳出削減に努めたことにより、当初見込まれた138億円超の収支不足に対応、将来負担の低減に向けた取り組みにより、財政健全化へ着実に進んでいると評価します。  
 今後は必要な財源の確保を図り、戦略的な都市施策に果敢に取り組み、将来を担う方々が希望を持てる都市を目指し市政運営にあたるよう要望します。

**6 千葉市議会無所属の会**  
**財政健全化への取り組みや市民福祉を向上させる各種施策の充実に賛成**  
 当初約138億円の収支不足が見込まれた中、将来負担の低減など財政健全化や市民福祉の向上に一定の対応が図られており、保健福祉施策、子育て支援施策などの各施策も評価します。事業見直しや公共料金改定など、市民の方々に財政健全化にご理解やご協力をいただいていることを真摯に受け止め、さらなる行財政改革を推進し、徹底した無駄の排除に全力で取り組まれるよう要望します。